

奥戸地区図書館4月2日オープン

4月2日に南奥戸小学校内の余裕教室を活用して、「奥戸地区図書館」が開館しました。

葛飾区内4番目の地区図書館となる奥戸地区図書館。収納蔵書数は、一般書約2万冊、児童書約1万冊の約3万冊規模の小さな図書館です。

新聞、雑誌、CDも所蔵し、区内各図書館ともオンラインでつながっています。

明るい雰囲気の館内では、学校のチャイムが聞こえ、児童書エリアの壁面には

南奥戸小学校の児童の作品が展示されるなど、小学校ならではの雰囲気を感じることができます。

今後は、積極的に南奥戸小学校との連携を図るとともに、地域の皆様に親しまれる図書館を目指します。



奥戸地区図書館

立石図書館開館準備進行中です

6月30日にリニューアルオープンする予定の立石図書館について紹介します。

◎ICタグの活用

中央図書館に続き、予約棚システム、自動貸出機などを設置し、ICタグを活用したセルフシステムを導入することで、プライバシーを守り、効率的な資料管理を図ります。

◎ヤングアダルトコーナー

中高校生向けの、読み物や調べ学習などに利用できる図書資料などをそろえています。中高校生の優先席もありますので、調べものなどにご利用ください。

◎環境資料コーナー

かつしかエコライフプラザとの協力により、ごみ減量や環境・エコに関する図書・雑誌・DVDを收集しました。

大人も子どもも楽しく環境問題について学習できる施設として、資料面から支えます。

第六十一回 葛飾区珠算大会が開催

葛飾区珠算大会が2月27日(日)、テクノプラザかつしかで、開催されました。

午前の部のシニア大会には、最高齢で86歳の方など32名が参加。同じく午前の部の親子大会には、78歳の祖父と9歳の孫のチーム、5歳のチビッ子選手出場チームなど38組がエントリー。

午後の珠算競技大会には、小学生を中心に、中学、高校生から一般成人までの

総計210名が出場など、延べ315名の選手が、熱戦を繰り広げました。

親子大会の後には、採点までの休憩時間に番外競技で行われたピンゴラッキーゲームが楽しく、沢山の賞品を手渡され、参加者は喜んで会場を後にしました。

「人間の頭脳がコンピュータと互角に早く、正確に計算できるなんて、信じられない!」と世界で大注目の「ソロバン」。あなたも来年は参加してみては?。

▼チャンピオン賞の皆さん

○シニアそろばん大会

沖田 雅代さん(シニアの部)
星野美津枝さん(ミドルの部)

○珠算競技大会
佐藤 寛太朗さん(小学4~6年の部)
佐藤 仁さん・佐藤 寛太朗さん

永井のどかさん(小学3年以下の部)
佐藤寛太朗さん(小学4~6年の部)
加藤郁美さん(中学生以上一般の部)



第1位 渡部 香生子さん
(武藏野中学校2年)



文化・芸術・スポーツ功労章表彰
(1月27日受章)